

友好都市間で災害時応援協定を締結

2月15日、合気道創設者である植芝盛平翁の縁で友好都市を提携している和歌山県田辺市、北海道遠軽町、京都府綾部市、そして笠間市の3市1町の市長と議長が一堂に会し、新たに災害時相互応援協定を締結しました。

今回の協定締結は、昨年3月の東日本大震災では笠間市が、また、同年9月の台風12号の大雨による土砂災害では田辺市が、それぞれ友好都市から支援物資や支援金などの援助を受けたことを契機に、笠間市が呼びかけたもので、さらに友好都市間の“絆”を強くすることが、大規模災害時の市民の生命財産を守る手段として効果的であると考えたためです。

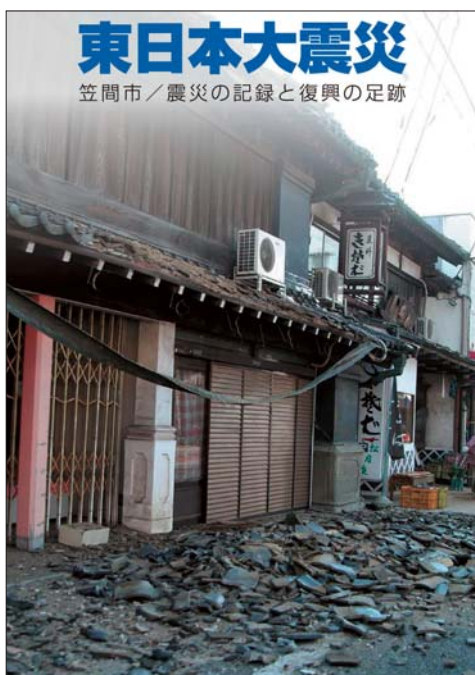
大規模災害（地震や台風、原子力災害など）の発生により応援要請があった場合、要請を受けた協定市町は、食料や飲料水のほか、生活必需品の提供、医療や防疫に必要な資機材の提供、救援活動に必要な車両等の提供と職員の派遣、被災児童生徒の受入れ、ボランティアのあっせんなどを行います。また、被災した協定市町と連絡が取れない状況下においても、自主的な判断により応援ができるものとしています。



前列左から山口市長、山崎綾部市長、佐々木遠軽町長、真砂田辺市長
後列左から柴沼市議会議員、木下綾部市議会議員、高垣田辺市議会議員

東日本大震災記録写真集 「震災の記録と復興の足跡」を発行

1部300円で販売します



笠間市では、東日本大震災の体験を後世に語り継ぐため、また、今後のまちづくりや防災対策に生かすため、東日本大震災記録写真集～震災の記録と復興の足跡～を発行します。

笠間市の被害状況、震災直後の市民生活や復興に向かう様子などを写した写真(115枚)のほか、震災での体験や震災を通して感じたことや岩間中学校の震災復興支援活動体験作文を掲載しています。

ぜひ、この機会にお買い求めください。

なお、売上金は笠間市の復興経費に充てさせていただきます。

- 定価 300円(税込み)
- ページ数 A4判32ページ
(表紙を含む、オールカラー)
- 発行部数 5,000部

※購入をご希望の方は、笠間市役所秘書課
(内線225)まで、お問い合わせください。